

[004] 九州大学農学部農場年報 : 第4号

<https://doi.org/10.15017/13214>

出版情報 : 九州大学農学部農場年報. 4, 2004-08. 九州大学農学部附属農場
バージョン :
権利関係 :

IV. 研究

1. 研究課題

当農場では教官、技官が一体となり種々の研究に取り組むとともに、学内外の研究者との共同研究にも力を注いでいる。以下に2000～2003年度に実施した主要な研究課題を示した。

農場教官、技官による研究

- 次世代農業機械のヒューマンインターフェースに関する研究（作物・機械研究室，2000-2002）
- 環境保全型機械化栽培に関する研究（作物・機械研究室，2000-2003）
- 農業用多目的統合制御システムの開発に関する研究（作物・機械研究室，2000-2003）
- 21世紀型産学連携手法の構築—熟年世代の知識・技術を利用する新規産学連携システムの構築—（作物・機械研究室，2001）
- 世代間連携による高度技術の産業利用研究（作物・機械研究室，2002-2003）
- 踏車の動態保存に関する研究（作物・機械研究室，2003）
- 農産物の品質評価に関する研究（作物・機械研究室，2003）
- 農業IT化プロジェクト研究（作物・機械研究室，2003）
- ダイズの耐湿性と二次通気組織の機能（作物・機械研究室，2000-2003）
- 北部九州における再生二期作稲栽培の可能性（作物・機械研究室，2000-2001）
- 飼料稲栽培における再生二期作稲の利用（作物・機械研究室，2000-2002）
- 飼料稲におけるホールクroppサイレージ向き品種の育成（作物・機械研究室，2000-2003）
- 湛水直蒔き栽培きによる飼料稲栽培技術の確立（作物・機械研究室，2000-2003）
- エチレン、ジベレリンおよびABAによる浮稲の節間伸長調節機構の解明（作物・機械研究室，2000-2003）
- 浮稲性のQTL分析（作物・機械研究室，2001-2003）
- イースタンガマグラスおよびスウィチグラスのエネルギークropp特性（作物・機械研究室，2001-2002）
- 陸稲および天水稲における耐干性の解析（作物・機械研究室，2003）
- 北部ベトナムにおける遺伝資源の評価（作物・機械研究室，2003）
- 北部ベトナムにおける水質汚染の解明（作物・機械研究室，2003）
- 果樹園における無除草・省力を目的とした樹冠下草生栽培法に関する研究（福留、梶原、名田）。
- 果樹園におけるカラス害の防止法に関する研究（花田、福留、安河内、若菜）
- アスパラガスの育種に関する研究（蔬菜・花卉研究室，2001-2003）
- ツバキ属植物の種分化ならびに育種に関する研究（蔬菜・花卉研究室，2001-2003）
- 食用ハスの肥大茎形成に関する研究（蔬菜・花卉研究室，2001-2003）
- ナス果皮の着色に関する研究（蔬菜・花卉研究室，2001-2003）
- ツツジ属植物の育種に関する研究（蔬菜・花卉研究室，2001-2003）
- カックロールの無核栽培に関する研究（蔬菜・花卉研究室，2001-2003）
- ユリ属植物の種・品種分化と育種に関する研究（蔬菜・花卉研究室，2000-2003）
- ネットメロンの養液栽培に関する研究（蔬菜・花卉研究室，2002-2003）
- 乳を用いた受動免疫によるう蝕予防（畜産研究室，2000-2003）
- ヤギ乳を用いたう蝕予防抗体の効果的誘導について（畜産研究室，2003）
- トカラヤギの繁殖および遺伝について（畜産研究室，2000-2003）
- 久連子鶏の遺伝について（畜産研究室，2000-2003）
- 飼料稲に関する研究（畜産研究室，2000-2003）
- 乾燥下水汚泥の肥料化技術の開発（畜産研究室，2000-2003）
- 久住地域の人工草地の動態（畜産研究室，2000）
- 卵殻残渣の圃場への施用の効果に関する研究（畜産研究室，2001-2003）
- 各種牧草の形態に関する研究（畜産研究室，2003）
- 堆肥調製時の土着菌の利用に関する研究（畜産研究室，2003）
- 自然再生事業の評価—アザメの瀬における土壌とバイオマスの評価—（畜産研究室，2003）
- トカラヤギを用いた雑草防除（畜産研究室，2003）

代謝生理的インプリンティング効果の解明と耕作放棄地の未利用草資源を活用した新奇牛肉生産システムの構築（動物生産部門、2001-2003）
肥育牛の肉質早期判定技術の確立に関する研究（動物生産部門、2000）
黒毛和種子牛におけるグルタチオンの離乳時ストレス軽減効果に関する研究（動物生産部門、2000）
離乳法の違いが子牛の成育に及ぼす影響（動物生産部門、2000）
イタリアンライグラスおよび寒地型多年生牧草の初期生長に及ぼす施肥の影響（動物生産部門、2000）
給与飼料の質変化が和牛成長ホルモンの分泌パターンに及ぼす影響（動物生産部門、2000-2003）
育成期の飼料給与体系の差異が黒毛和牛骨格筋の発達に及ぼす影響（動物生産部門、2000-2003）
追播における覆土が牧草およびエゾノギシギシの初期発芽に及ぼす影響（動物生産部門、2000-2003）
和牛および欧州牛の肉質に関する形態学および分子生物学的研究（動物生産部門、2002、2003）
荒廃草地の簡易的植生回復技術の確立－牧草地の雑草の生態的防除－（動物生産部門、2000-2003）
国東半島の荒廃した果樹園への牛放牧による低コスト肉用牛生産、国土および景観保全（動物生産部門、2001-2003）
黒毛和牛における飼養条件の違いが骨格筋内の脂肪分化誘導因子の発現に及ぼす影響（動物生産部門、2001-2003）
黒毛和牛における飼養条件の違いが骨格筋量制御因子の発現に及ぼす影響（動物生産部門、2001-2003）
牛骨格筋のエージングに関する遺伝子の探索（動物生産部門、2003）
耕起法の違いがエゾノギシギシ（*Rumex obtusifolius* L.）の株と実生に及ぼす影響－草地更新における生態的雑草防除－（動物生産部門、2000-2003）

学部教官による研究（農場教官との共同研究を含む）

下水汚泥等の減圧油温乾燥による新素材の開発と利用（農学部、生物環境調節センター、2000-2003）
21世紀型産学連携手法の構築－熟年世代の知識・技術を利用する新規産学連携システムの構築－（農学部2001）
世代間連携による高度技術の産業利用研究（農学部、2002-2003）
トウモロコシとリョクトウの混作による収量効果（熱帯農学研究センター）（2000）
夏ダイズ品種のイソフラボノイド含量（植物栄養肥料学講座）（2001-2003）
ダイズアブラムシの発生消長（天敵増殖学講座）（2003）
三倍体無核ブドウ育成個体BK9101の最適栽培技術の確立（若菜、花田、福留、梶原、安河内、農業植物学講座）。
カンキツ類における幼若性、矮性、多胚性、白子の遺伝解析とトリソミックシリーズの作成（若菜、農業植物学講座、福留、梶原）。
ブドウの高・低四倍体育種に関する基礎研究（若菜、農業植物学講座、福留、梶原）。
香酸カンキツの育種に関する基礎研究（若菜、農業植物学講座、花田、福留、梶原、安河内）。
果樹遺伝子源の収集、保存、評価、遺伝子分析（若菜、農業植物学講座、花田、福留、梶原）。
カンキツと核果類の胚発生と発芽に関する研究（若菜、農業植物学講座、花田、福留、梶原）。
果樹園における低農業栽培に関する研究（福留、梶原、生物的防除学講座）。
果樹研究室育成三倍体無核文旦の試作試験（福留、梶原、若菜、農業植物学講座）。
果樹研究室育成ナシ博水の試作試験（福留、梶原、若菜、農業植物学講座）。
湯元清文（理学研究院・地球惑星科学部門・教授）、環太平洋地磁気ネットワーク観測による宙空環境微小変動の検出（定常観測研究）（2002,2003）
清水 洋（理学研究院附属地震火山観測研究センター・教授）、九州地区の微小地震観測人工衛星を使ったテレメータによる地震の連続観測（2002,2003）
江原幸雄（工学研究院・地球資源システム工学部門・教授）、九重火山の活動を調査研究（2002,2003）
増田泰久（農学研究院・動物資源科学部門・教授）、クワの放牧利用に関する研究およびクワの牧柵としての機能に関する研究（2002,2003）

学外研究者による利用（農場教官との共同研究を含む）

イメージ情報科学研究所, 九州大学産学連携センターほか, 農業IT化プロジェクト研究
長 裕幸 (佐賀大学農学部生物生産学科)、高原農場における気象要素の測定及び地温、土壌水分の自動モニタリング (2000 ~ 2003)

2. 研究業績

学会誌, 学術専門誌

2000年度

- (Kusaba-Nakayama, M.), T. Mochizuki, et al. Intestinal Absorbability of Wheat Allergens, Subunits of a Wheat α -Amylase Inhibitor, Expressed by Bacteria. *Biosci. Biotechnol. Biochem.* 65(11):2448-2455.
- (飛佐 学)・中野 豊・岡野 香ほか2名 暖地型マメ科 *Aescynomene americana* L. の生育に伴う乾物消化率及び窒素含有率の推移 日本草地学会誌, 46(2), 133-142, (2000)
- (飛佐 学)・中野 豊・岡野 香ほか2名 水田転換畑で栽培した暖地型マメ科 *Aeschynomene americana* L. の生育, 乾物消化率及び粗タンパク質含有率並びにヤギによる嗜好性 日本草地学会九州支部会報, 30(2), 7-12, (2000)
- (Nishimura, S.,) K. Okano, (K. Yasukouchi,) T. Gotoh, (S. Tabata and H. Iwamoto). Testis Developments and Puberty in the Male Tokara (Japanesnative) Goat. *Animal Reproduction Science* 64:127-131. 2000.
- (Sakakibara, K., S. Tabata, N. Shiba,) T. Gotoh, (S. Nishimura and H. Iwamoto). Myofibre composition and total collagen content in *M. iliotibialis lateralis* and *M. pectoralis* of Silkie and White Leghorn chickens. *British Poultry Science* 41: 570-574. 2000.
- (Morita, S., H. Iwamoto, Y. Fukumitsu,) T. Gotoh, (S. Nishimura and Y. Ono). Heterogeneous composition of histochemical fibre types in the different parts of *M. longissimus thoracis* from Mishima (Japanese native) steers. *Meat Science*, 54 : 59-63. 2000.
- (守田 智・岩元久雄・福満裕二・)後藤貴文(・西村正太郎・尾野喜孝) 去勢雄見島牛の骨格筋に関する組織化学的研究. 日本畜産学会報, 71 : J51-J59. 2000.

2001年度

- (Shimazaki, Y.), K. Okano, Y. Nakano, M. Fukuyama, N. Fujihara, Y. Nada *et al.* Passive Immunization with Milk Produced from an Immunized Cows Prevents Oral ReColonization by *Streptococcus mutans* *Clinical and Diagnostic Laboratory Immunology*, 8 (6), 1136-1139, (2001)
- Hiramatsu, M., H. Okubo, K. L. Huang, C. W. Huang and K. Yoshimura. Habitat and reproductive isolation as factors in speciation between *Lilium longiflorum* Thunb. and *L. formosanum* Wallace. *J. Japan. Soc. Hort. Sci.* 70: 722-724. 2001.
- Hiramatsu, M., K. Ii, H. Okubo, K. L. Huang, and C. W. Huang. Biogeography and origin of *Lilium longiflorum* and *L. formosanum* (Liliaceae) endemic to the Ryukyu Archipelago and Taiwan as determined by allozyme diversity. *Amer. J. Bot.* 88: 1230-1239. 2001.
- (Iwamoto, H., S. Tabata, K. Sakakibara, S. Nishimura,) T. Gotoh (and Y. Koga). Scanning electron microscopic observation of the architecture of collagen fibers in chicken *M. iliotibialis lateralis*. *British Poultry Science* 42:321-326. 2001.
- (Nishimura, S., K. Ikeda, K. Okano,) T. Gotoh, (S. Tabata and H. Iwamoto.) Proportional change of somatotrophs, mammatrophs and somatomammatrophs induced by cessation of lactation in female goat adenohypophysis. *Animal Science Journal* 72: 32-33. 2001.

2002年度

- 野本俊雄・泉和喜男・中司 敬・内野敏剛、福岡町の農家におけるIT普及と利用状況の実態調査、農業機械学会九州支部誌、(51) : 39-44、2002.
- 村田 敏・内野敏剛・中司 敬、大学サイドと企業サイドから見た研究開発、農業機械学会九州支部誌、(51) : 55-58、2002.

- Shimamura, S., T. Mochizuki, Y. Nada, et al. Secondary Aerenchyma Formation and its Relation to Nitrogen Fixation in Root Nodules of Soybean Plants (*Glycine max*) Grown under Flooded Conditions. *Plant Production Science* 5(4):294-300.
- 島村聡・望月俊宏・名田陽一 ほか 1 名 湛水条件下で栽培したダイズにおける二次通気組織の形成と生育・収量 日本作物学会紀事 72 (1) : 25-31.
- Park, S. M., A. Wakana, M. Hiramatsu, and J. H. Kim. Male and female fertility in triploid grapes (*Vitis* complex) with special reference to the production of aneuploid plants. *Vitis*, 41(1): 11-19. 2002.
- Park, S. M., A. Wakana, A., M. Hiramatsu and K. Ureshino. A tetraploid plants from $4x \times 2x$ crosses in *Vitis* and its origin. *Euphytica*, 126: 345-353. 2002.
- Park, S. M., A. Wakana, C. S. Keong, J. H. Kim and K. Heo. Male and female fertility in plants obtained from 'Muscat Bailey A'. *J. Korean Soc. Hort. Sci.*, 43(4): 542-456. 2002.
- Ii, K., H. Okubo, Y. Ozaki and T. Nakano. Differential display of genes induced by low temperature in bulb formation of hyacinth. *Acta Hort.* 570: 335-339. 2002.
- Ozaki, Y. Intra- and inter-ploid cross compatibility and trisomic production in asparagus (*Asparagus officinalis* L.). *Acta Hort.*, 589: 181-184. 2002.
- 2003 年度
- 大西正・中司敬・(他 3 名)、トラクタの廃油処理に関する実態調査、農業機械学会九州支部誌、(52) : 1-4、2003.
- 李康五・中司敬、農業生産コラボレーションのためのカメラ画像、農業機械学会九州支部誌、(52) : 23-27、2003.
- 内野敏剛・中司敬・(他 5 名)、林地保全のためのタケの侵入被害防止対策への一提案、農業機械学会九州支部誌、(52) : 11-15、2003.
- Shimamura, S., T. Mochizuki, Y. Nada, et al. Formation and function of secondary aerenchyma in hypocotyl, roots and nodules of soybean (*Glycine max*) under flooded conditions. *Plant and Soil* 251: 351-359.
- Xi, Y., Y. Nada, (T. Soh, N. Fujihara and M. Hattori). Green Fluorescent Protein Gene-Transfected Peafowl Somatic Cells Participate in the Development of Chicken Embryos. *Journal of Experimental Zoology* 301A:139-149
- Thao, N. T. P., K. Ureshino, I. Miyajima, Y. Ozaki and H. Okubo. Induction of tetraploids in ornamental *Alocasia* through colchicine and oryzalin treatments. *Plant Cell, Tiss. Org. Cult.*, 72(1): 19-25. 2003.
- Thao, N. T. P., I. Miyajima, K. Ureshino, Y. Ozaki and H. Okubo. *Para*-fluorophenylalanine-induced aneuploidy in *Alocasia*. *J. Japan. Soc. Hort. Sci.*, 72(4): 299-305. 2003.
- Thao, N. T. P., Y. Ozaki and H. Okubo. Callus induction and plantlet regeneration in ornamental *Alocasia micholitziana*. *Plant Cell, Tiss., Org. Cult.*, 73(3): 285-289. 2003.
- Gotoh, T. Histochemical properties of skeletal muscles in Japanese cattle and their meat production ability. *Animal Science Journal* 74: 339-354. 2003.
- (Iwamoto, H.) T. Gotoh, (S. Tabata, S. Nishimura, S. Okamoto.) Changes of histochemical profiles of myofibers in pectoralis and supracoracoideus fasciculi induced by breeding for large or small body size in Japanese quails. *Animal Science Journal* 74, 111-118. 2003.
- (池田堅太郎・)後藤貴文(・飛佐 学・下條雅敬・増田泰久.) イヌビエ (*Echinochloa crus-galli* (L.) Beauv.) とメヒシバ (*Digitaria adscendens* (H.B.K.) Henr.) の発芽に及ぼす光と温度の影響. *Grassland Science* 49(1): 28-32. 2003.
- (池田堅太郎・)後藤貴文(・飛佐 学・下條雅敬・増田泰久.) 九州中部高原地域の採草地におけるイヌビエ (*Echinochloa crus-galli* (L.) Beauv.) とメヒシバ (*Digitaria adscendens*(H.B.K) Henr.) 埋土種子の休眠覚醒の進行と発芽特性の変化. *Grassland Science* 49(3) : 238-242. 2003.
- (池田堅太郎・)後藤貴文(・飛佐 学・下條雅敬・増田泰久.) 地表部の植皮と刈り取りがメヒシバ (*Digitaria*

adscendens(H.B.K) *Henr.*) とイヌビエ (*Echinochloa crus-galli* (L.) *Beav.*) 種子の発芽時期に及ぼす影響. *Grassland Science* 49 (4):373-378. 2003.

後藤貴文. 果樹園跡地の未利用草資源を利用した牛肉生産システムの再構築. *日本草地学会九州支部会報* 33(1): 18-25. 2003.

(城戸 英・石若礼子・飛佐 学・重盛 進・)後藤貴文(・増田泰久.)ヤギを放牧した荒廃果樹園の植生変化. *日本草地学会九州支部報* 33 (2): 23-29. 2003.

国際会議などのプロシーディングス

2000 年度

Shimamura, S., T. Mochizuki, et al. Growth of soybean (*Glycine max* (L.) Merr.) under flooding and the role of secondary aerenchyma in hypocotyl. Book of Abstracts, The 3rd International Crop Science Congress 2000, August 2000, p.164. Hamburg, Germany.

Takahashi, U. and T. Mochizuki. Internode elongation of deepwater rice (*Oryza sativa* L.) under rising water conditions. Book of Abstracts, The 3rd International Crop Science Congress 2000, August 2000, p.166. Hamburg, Germany.

(Iwamoto, H., S. Tabata,) T. Gotoh (and S. Okamoto.) Histochemical profile and ultrastructure of Pectoralis myofibres in Japanese quails bred for large body size. Proceeding of the 9th AAAP Animal Science Congress(Sydney), 2000.

Gotoh, T. (H. Hayashi, H. Iwamoto, K. Kawabata and M. Ozono.) The relationship between meat quality and feeding system in Japanese Black steers; Can much concentrate feed during 3 to 14 months of age improve meat quality in the longissimus muscle of fattened Japanese steers? Proceeding of the 9th AAAP Animal Science Congress(Sydney), 2000.

Gotoh, T. (M. Matsuzaki, M-A. Hattori, H. Iwamoto, and Y. Ono) Influence of Feed Quality on Pulsatile Release of GH Release of IGF-I, and the Development of Muscles and Bones of Body Parts in Young Japanese Black Heifers. Proceeding of 3rd International Symposium on Growth Hormone Secretagogues (Keystone), 2000.

2001 年度

Nakaji, K. and J. Liu. 2001. The development of the friendly multipurpose integration control system for agricultural production. Proc. of the Third Conference of the European Federation for Information Technology in Agriculture, Food and the Environment(EFITA 2001), 2 : 537-542.

Nakaji, K., J. Liu and S. Inoue. 2001. Voice control of the robot for horticultural work. Proc. of the 6th International Symposium on Fruit, Nut, and Vegetable Production Engineering, 657-662.

Kawano, R. and T. Mochizuki Internodal elongation ability under partial submergence in non-deepwater rice varieties (*Oryza sativa* L.). *Asian Agric. Cong.*, p.164. April 2001, Manila, Philippines.

Shimamura, S., T. Mochizuki et al. Possibility of soybean production under continuously flooded conditions and the role of aerenchymatous tissues for tolerance. *Asian Agric. Cong.*, p.170. April 2001, Manila, Philippines.

(Takahashi, K.), T. Mochizuki et al. Clarification on two factors associated with increased photosynthetic rate under elevated carbon dioxide concentration in rice plant (*Oryza sativa* L.). *Asian Agric. Cong.*, p.228. April 2001, Manila, Philippines.

Shimamura, S., T. Mochizuki, Y. Nada, et al. Morphological changes in root nodules of soybean (*Glycine mas*) grown under flooded conditions. Proceedings of the 6th Symposium of the International Society of Root Research, pp. 294-295. November 2001, Nagoya, Japan.

Gotoh, T., (M. Matsuzaki, M. Etoh, M-A. Hattori, Y. Ono and H. Iwamoto.) Influence of feed quality on release of GH and IGF-I, the development of muscles and bones of body parts, the histochemical properties of longissimus and psoas major muscles in wagyu(Japanese black heifers). The Proceeding of International conference of farm animal endocrinology(Italy),

Biotechnology, Agronomy Society and Environment, Special Issue 5:79-80. 2001.

2002 年度

Nakaji, K., et al. 2002. Characteristics of the sewage sludge processed by new dehydration system and use for conservation agriculture of paddy. Proc. of the 10th International Conference of the European Cooperative Research Network on Recycling of Agricultural Municipal, and Industrial Residuals in Agriculture (RAMIRAN), 343-347.

Nakaji, K. and K. Lee. 2002. Construction of the multilingual collaboration system for farmers. Proc. of the International Symposium on Automation and Mechatronics of Agricultural and Bioproduction Systems (ISMAB), Vol.2: 721-726.

(Hayashi, K., S. Miyakawa, T. Etoh,) T. Gotoh, (and Y. Masuda.) Use of abandoned goves for grazing area of Japanese Black cattle. Proceedings of the 4th Joint Symposium of Korea and Japan on Rumen Metabolism and Physiology, 2002.

2003 年度

Lee, K. and K. Nakaji. 2003. Development of the multilingual collaboration system for agricultural production by using IP camera. Proc. of the International workshop 2003 Agricultural engineering and agro-products processing toward mechanical and modernization in agriculture and rural areas, Ministry of Education and Training, Vietnam. II, 1-9.

Nakaji, K., et al. 2003. The practical education of the agrotechnology history by restoring and performing a Japanese traditional treadle water wheel - FUMIGURUMA. Proc. of the International workshop 2003 Agricultural engineering and agro-products processing toward mechanical and modernization in agriculture and rural areas, Ministry of Education and Training, Vietnam. II, 10-18.

Sakai, K., K. Ureshino, Y. Ozaki and I. Miyajima. Effectiveness of interplod crosses for overcoming plastome-genome incompatibility in intersectional crosses of azalea. EUCARPIA 21st International Symposium, Section Ornamentals. 28. 2003.

Shuto, Y., K. Nakano, M. Hiramatsu, Y. Ozaki and H. Okubo. Polyploid induction in *Lilium x formolongi* by oryzaline treatment. EUCARPIA 21st International Symposium, Section Ornamentals. 30. 2003.

Gotoh, T. Creation of a Novel Beef Production System in Japan: Effects of Metabolic Imprinting during Early Growth and Utilization of Abandoned Agricultural Land. Proceedings of the 1st international symposium; Present and Future of Transgenic Cloned Pig Research (Daejeon, Korea): 41-45. 2003.

(Fumita, T., T. Etoh, K. Tanaka, J. Wegner and) T. Gotoh. Influence of feed quality on the expression of PPAR 2 in skeletal muscles on calves. International Dummerstorf Workshop "Early Nutrition, Growth and Metabolism", Archiv fuer Tierzucht, Dummerstorf 46, Special Issue, pp.165 (12-13 September 2003, Rostock-Warnemünde, Germany). 2003.

Gotoh, T., (A. Baba, T. Fumita, K. Tanaka, T. Etoh and J. Wegner.) Influence of feed quality on growth regulating factors in skeletal muscles on calves. International Dummerstorf Workshop "Early Nutrition, Growth and Metabolism". Archiv fuer Tierzucht, Dummerstorf 46, 2003, Special Issue, pp.166 (12-13 September 2003, Rostock-Warnemünde, Germany). 2003.

学報、農場報告など

2000 年度

大坪政美・中司 敬・中園修三・中園英司・徳留斉将、油温乾燥汚泥を添加した土の物理的性質、九州大学大学院農学研究院学芸雑誌、55(1):71-75.

(Faruque, A.), T. Mochizuki, et al. Studies on yield, land equivalent ratio and crop performance rate in maize-mungbean intercropping. Journal of the Faculty of Agriculture, Kyushu University 45: 39-48.

- (Shimojo, M.), Y. Nakano, *et al.* Contrastive or Interconvertible Relationships between Forage and Ruminant Growth Analysis Equations - A Simple Description using a Symmetry-like Characteristic - J. Fac. Agr., Kyushu Univ., 44(3.4), 279-285, (2000)
- (Shimojo, M.), Y. Nakano, *et al.* Basic Dividing of Foods between Ruminants and Humans when based on the Production of Forages or Grain Crops, or Both - A Simple Analytic Description - J. Fac. Agr., Kyushu Univ., 44(3.4), 287-292, (2000)
- (Shimojo, M.), Y. Nakano, *et al.* Basic Avoidance of Food Competition among Ruminants, Non-Ruminants and Humans - A Simple Analytic Description - J. Fac. Agr., Kyushu Univ., 44(3.4), 299-307, (2000)
- 2001 年度
- 望月俊宏 ほか 2 名 水田除草剤が水稲種子根の伸長に及ぼす影響.九州大学農学部農場研究報告 10:13-18.
- 島村聡・望月俊宏 ほか 1 名 湛水条件下においてダイズの胚軸に形成される二次通気組織量の品種間差異.九州大学農学部農場研究報告 10:19-24.
- 鳥飼幸秀・中川幸夫・梶原良徳・梶原さゆり・篠崎久美香・望月俊宏 2001. 代かき同時土中点播方式による水稲直播栽培の実証研究(短報).九大農場研報 10:32-34,
- (Egashira, K.), T. Mochizuki *et al.* Preliminary assessment of quality of water in Gazipur district, Bangladesh. Journal of the Faculty of Agriculture, Kyushu University 46:75-82.
- Ngo, B. X., A. Wakana, I. Fukudome and Y. Nada. Pollen tube behaviors in self-compatible and self-incompatible *Citrus* cultivars. J. Fac. Agr., Kyushu Univ., 45: 443-457. 2001.
- Hiramatsu, M., H. Kubo, S. Takeshita, A. Wakana and H. Okubo. Genetic control of isozymes in *Lilium longiflorum* Thunb. J. Fac. Agr., Kyushu Univ., 46: 61-67. 2001.
- 尾野喜孝・衛藤哲次・内田哲郎. 黒毛和種雌牛の繁殖成績に及ぼすビタミン・ミネラル含有製剤の影響.九州大学農学部農場報告 10:1-5. 2001.
- 西村光博 覆土資材と覆土厚の違いがオーチャードグラス (*Dactylis glomerata* L.) およびエゾノギシギシ (*Rumex obtusifolius* L.) の初期発芽率に及ぼす影響.九州大学農学部農場報告 10:6-12. 2001.
- 渡辺 潤・衛藤哲次・西村光博・尾野喜孝. 生後3カ月間の飼育方法の違いが子牛の発育に及ぼす影響.九州大学農学部農場報告 10:25-28. 2001.
- 2002 年度
- Wakana, A., M. Hiramatsu, S. M. Park, N. Hanada I. Fukudome and B. X. Ngo. Degree of abortion and germination rates of triploid seeds from crosses between 2x and 4x cultivars (*Vitis vinifera* L. and *V. complex*). J. Fac. Agr., Kyushu Univ., 46(2): 281-294. 2002.
- Michishita, A., K. Ureshino, I. Miyajima, Y. Ozaki and H. Okubo. Comparison of the juvenile period of interspecific-cross seedlings in evergreen azaleas. J. Fac. Agr., Kyushu Univ., 46(2): 275-279. 2002.
- Nabi, S. A., M. G. Rasul, M. Al-Amin, M. M. Rasheed, Y. Ozaki and H. Okubo. *In vitro* multiplication of kakrol (*Momordica dioica* Roxb.). J. Fac. Agr., Kyushu Univ., 46(2): 303-309. 2002.
- Arifin, N. S., I. Miyajima, Y. Ozaki and H. Okubo. Effects of ultraviolet light elimination on pigmentation in *Allium x wakegi* and shallot (*Allium cepa aggregatum* group) bulbs. Bull. Inst. Trop. Agr., Kyushu Univ., 25: 9-13. 2002.
- 2003 年度
- 白井真奈美・島村 聡・泉 清隆・望月俊宏・名田陽一 Eastern gamagrass (*Tripsacum dactyloides* (L.) L.) の生活環と耐湿性.九州大学農学部農場研究報告 11:56-61.
- 花田信章・若菜章・福留功・鳥飼芳秀・中川幸夫・安河内幸一・梶原康平. 果樹園における釣り糸防鳥線の設置方法とカラスの食害回避効果.九州大学農学部農場研究報告, 11:15-26. 2003.
- 若菜章・花田信章・中川幸夫・鳥飼芳秀・福留功・朴成敏. ブドウにおける縮果病の発生程度とカルシウム, マグネシウム及びホウ素の発生予防効果.九州大学農学部農場研究報告, 7:27-35. 2003.
- Wakana, A., M. Hiramatsu, M. S. M. Park, N. Hanada, I. Fukudome and K. Yasukochi. Seed abortion

- in crosses between diploid and tetraploid grapes (*Vitis vinifera* and *V. complex*) and recovery of triploid plants through embryo culture. *J. Fac. Agr., Kyushu Univ.*, 48(1・2): 281-294. 2003.
- Hiramatsu, M., A. Wakana, S. M. Park, N. Hanada, I. Fukudome and B. X. Ngo. Production of triploid grapes (*Vitis complex*) through immature seed culture and subsequent embryo culture. *J. Fac. Agr., Kyushu Univ.*, 48(1・2): 51-57. 2003.
- Ozaki, Y., M. Kanda, I. Miyajima and H. Okubo. Variation of self-incompatibility in *Camellia japonica* L. cultivars. *J. Fac. Agr., Kyushu Univ.*, 47(2): 251-255. 2003.
- Thao, N. T. P., I. Miyajima, K. Ureshino, Y. Ozaki and H. Okubo. Micropropagation of ornamental *Alocasia*. *J. Fac. Agr., Kyushu Univ.*, 47(2): 277-282. 2003.
- Michishita, A., K. Ureshino, I. Miyajima, K. Sakai and Y. Ozaki. Capsule set, seed productivity and germination in interspecific crosses among evergreen azaleas. *J. Fac. Agr., Kyushu Univ.*, 47(2): 283-288. 2003.
- Lee, S., J. Kim, J. Sano, Y. Ozaki and H. Okubo. Phylogenetic relationships among tea cultivars based on AFLP analysis. *J. Fac. Agr., Kyushu Univ.*, 47(2): 289-299. 2003.
- 西村光博・林 恵介. 追播における覆土が雑草、特にエゾノギンギシ (*Rumex obtusifolius* L.) の発芽および茎数に及ぼす影響. 九州大学農学部農場報告 11:1-5. 2003.
- 西村光博・林 恵介. 追播翌年における一番草の刈り取り時期が追播オーチャードグラス (*Dactylis glomerata* L.) の茎数および全牧草収量に及ぼす影響. 九州大学農学部農場報告 11:6-10. 2003.
- 文田登美子・馬場明子・渡邊潤・衛藤哲次・西村光博・後藤貴文. 育成期の黒毛和牛骨格筋における飼養条件の違いが PPAR γ 2 の発現に及ぼす影響. 九州大学農学部農場報告 11:46-50. 2003.
- 馬場明子・文田登美子・衛藤哲次・渡邊潤・後藤貴文. 黒毛和種骨格筋内におけるマイオスタチンの発現に関する研究. 九州大学農学部農場報告 11:11-14. 2003.
- 林恵介・宮川創・衛藤哲次・後藤貴文・増田泰久. 2003. 果樹園跡地における黒毛和牛の放牧利用. 九州大学農学部農場報告 11:36-45. 2003.
- 衛藤哲次(・篠原孝明・)文田登美子(・川畑健次・坂下邦仁・大園正陽・岩元久雄・)後藤貴文. 黒毛和牛骨格筋における筋線維型構成と骨格筋内脂肪含量の関係に関する研究. 九州大学農学部農場報告 11:51-55. 2003.

著書, 雑誌など

2000 年度

- Nakaji, K., S. Inoue and J. Liu. Data acquisition and processing system for electric tractor. *The CIGR Electronic-Journal*:1475-1480, 2000.
- Chikushi, J., K. Nakaji, S. Kawanobu, S. Nakazono, E. Nakazono and S. Tokutome. Agricultural use of oily and dehydrated sewage sludge. *The CIGR Electronic-Journal*:1272-1277, 2000.
- 中野 豊・古澤弘敏・岡野 香(・増田泰久) ヤギ肉の加工 ヤギの友(全国ヤギネットワーク会報), 第2号, 23-24, (2000)

2001 年度

- 中司 敬, 下水汚泥の農地利用について, 第 14 回下水汚泥の有効利用に関するセミナー講演概要集(日本下水道協会), 35-52.
- 中司 敬, 油温減圧乾燥汚泥の特徴と利用, 再生と利用(日本下水道協会), 25(95):77-91.
- 中司 敬, 日タイジョイントセミナー及び見学会報告-複合経営農家-, 農作業研究(日本農作業学会), 36(2):93-94.
- (江頭和彦・)望月俊宏 バングラデシュで雨季に灌漑? 日本土壤肥料学雑誌 72:819-823.
- 望月俊宏 水をためてダイズ栽培 -その可能性. 現代農業. 2002 年 1 月号 105-107.
- 後藤貴文. 「筋肉から生産を考える 前編: 筋肉の基礎知識と, 黒毛和種と他品種の筋肉の比較について」. 肉牛ジャーナル 7月号:76-83. 2001.
- 後藤貴文. 「筋肉から生産を考える 後編: 筋線維型構成の成長に伴う変化, 性差, 産に区能力ならびに飼養条件との関係」. 肉牛ジャーナル 8月号:66-73. 2001.

2002 年度

名田陽一：飼料自給率向上促進マニュアル 日本草地畜産種子協会

名田陽一：飼料自給率向上促進マニュアルの手引き 日本草地畜産種子協会

中司 敬、下水汚泥の農地利用について－油温減圧乾燥汚泥の特徴と利用－、再生と利用、25(95)：77-91.

若菜章（共著）：最新果樹園芸学 朝倉書店（東京）

2003 年度

中司 敬、DLE による青果物の品質評価、食品の非破壊計測ハンドブック、第 2 章第 6 節、154-160、(株)サイエンスフォーラム。

学会発表

2000 年度

林恵介・池田堅太郎・(増田泰久)・名田陽一 イタリアンライグラスおよび寒地型多年生牧草の初期生長に及ぼす施肥の影響。日本草地学会第 55 回大会号、7、2000

林恵介・池田堅太郎・西村光博・衛藤哲次・渡辺潤・(増田泰久)・名田陽一 採草地更新時における基肥量が播種牧草と既存草の競争に及ぼす影響。日本草地学会第 56 回大会号、3、2001

中司 敬・井上眞一・池田一敏、油温減圧乾燥処理をした下水汚泥の水田での利用(第 1 報)、農業機械学会第 58 回年次大会。

山中捷一郎・中司 敬・池田一敏・井上眞一、油温減圧乾燥処理をした下水汚泥及びマサ土混合培地の特性、第 55 回農業機械学会九州支部例会。

Nakaji, K., S. Inoue, J. Liu. Data acquisition and processing system for electric tractor. The XIV Memorial CIGR World Congress 2000.

Chikushi, J., K. Nakaji, S. Kawanobu, S. Nakazono, E. Nakazono and S. Tokutome. Agricultural use of oily and dehydrated sewage sludge. The XIV Memorial CIGR World Congress 2000.

(飛佐 学)・望月俊宏・中野 豊 ほか 2 名 青刈りイネサイレージ発酵品質の品種間比較。日本畜産学会第 97 回大会講演要旨

高橋卯雪・望月俊宏 浮稲における節間伸長能の品種間差異。日本作物学会紀事 69 (別号 1) :198-199.

島村 聡・望月俊宏 ほか 1 名 湛水条件下でダイズの胚軸に形成される二次通気組織の機能。日本作物学会紀事 69 (別号 1) :66-67.

白 珍珠・望月俊宏・中野 豊・名田陽一 ほか 1 名 飼料稲栽培における青刈り稲および再生稲の生育、収量および消化率。日本作物学会紀事 69 (別号 2) :50-51.

(飛佐 学)・中野 豊・白 珍珠・望月俊宏 ほか 2 名 ファジービーン混合が飼料イネサイレージの発酵品質に及ぼす影響。日本草地学会誌 47 (別号) :238-239.

朴成敏・若菜章・松尾英輔。3x×2x および 3x×4x から得られたブドウの異数体実生の生育と形態。園芸学会雑誌 69 (別冊 2) :56. 2000.

ノースンビン・若菜章。カンキツにおける GOT アイソザイムの歪み分離と自家不和合性遺伝子の推定。園芸学会雑誌 69 (別冊 2) :68. 2000.

比良松道一・大久保敬・吉村きよみ・黄光亮・黄志偉。テッポウユリとタカサゴユリにおける実生 1 年目の成長の種内・種間変異。2000.09.

Hiramatsu, M., H. Okubo, K. Yoshimura, K. L. Huang and C. W. Huang. Biogeography and origin of *Lilium longiflorum* and *L. formosanum* II. Intra-Intespecific variation in stem leaf morphology, flowering rate and individual net production during the first year seedling growth. VIIIth. International symposium on Flowerbulbs. 2000.08.

(西村正太郎)・岡野 香ほか 3 名 ヤギの精巢における下垂体アデニル酸シクラーゼ活性化ポリペプチド(PACAP)の局在について。西日本畜産学会講演要旨, 26, (2000)

(飛佐 学)・白 珍珠・望月俊宏・中野 豊・(増田泰久) 青刈りイネサイレージ発酵品質の品種間比較 第 97 回畜産学会大会講演要旨, 150, (2000)

白 珍珠・望月俊宏・中野 豊・名田陽一・福山正隆 飼料稲栽培における青刈り稲および再生稲の生育、収量および消化率 日本作物学会紀事, 別号 2, 50-51, (2000)

(飛佐 学)・中野 豊・岡野 香ほか 2 名 水田転換畑における *Aeschynomene americana* L. と青刈ヒエ およびハトムギの混播栽培 日本草地学会誌, 第 46 巻別号, 82, (2000)

(飛佐 学)・中野 豊・岡野 香ほか 2 名 暖地型マメ科 *Aeschynomene americana* L. の嗜好性 西日本畜産学会第 51 回大会号, 29, (2000)

(Muhammad Y.), M. Tobisa, Y. Nakano, M. Shimojo and Y. Masuda. Fermentation quality of silages prepared by mixing of napiergrass with phasey bean 日本草地学会誌, 第 46 巻別号, 264, (2000)

後藤貴文(・岩元久雄・山口高弘・尾野喜孝・中西良孝・萬田正治・田畑正志・西村正太郎) 口之島野生化牛骨格筋の細胞外マトリックスの分布形態の共焦点レーザー顕微鏡による 3 次元立体構築. 2000 年 3 月, 97 回日本畜産学会大会(京都).

(尾野喜孝)・後藤貴文(・守田 智・岩元久雄・中西良孝・萬田正治・柳田宏一) 口之島野生化牛の骨格筋の特性について. 2000 年 3 月, 第 97 回日本畜産学会大会 (京都) .

(下野明彦・岡 早苗)・後藤貴文(・諸橋憲一郎・Richard Behringer.) Lim 1 転写因子の制御下で脳形成に関わる遺伝子群の単離と機能解. 2000 年 12 月, 第 23 回 日本分子生物学会年会 (神戸) .

2001 年度

中司 敬・上脇憲治・井上眞一・劉 蛟竜、生物生産分野における汎用音声制御実験システム(第 2 報)、農業機械学会第 59 回年次大会.

Nakaji, K. and J. Liu. The development of the friendly multipurpose integration control system for agricultural production. the Third Conference of the European Federation for Information Technology in Agriculture, Food and the Environment(EFITA 2001).

Nakaji, K., J. Liu and S. Inoue. Voice control of the robot for horticultural work. the 6th International Symposium on Fruit, Nut, and Vegetable Production Engineering. 下水汚泥の農地利用について、第 14 回下水汚泥の有効利用に関するセミナー講演、日本下水道協会.

Nakaji, K., J. Liu and S. Inoue. Voice control of the robot for horticultural work. Proc. of the 6th International Symposium on Fruit, Nut, and Vegetable Production Engineering.

白 珍珠・望月俊宏・中野 豊・飛佐 学・中川幸夫・鳥飼芳秀・梶原良徳・梶原さゆり・名田陽一 ほか 1 名 飼料用稲品種の検索 -浮稲を含む稲数品種の乾物収量および再生力-. 日本畜産学会第 99 回大会講演要旨. p.14.

中野 豊・白 珍珠・望月俊宏・飛佐 学・古澤弘敏・松石貴裕・泉 清隆・道端奈穂子・名田陽一 ほか 1 名 飼料用稲品種の検索 -浮稲を含む稲数品種のサイレージ特性-. 日本畜産学会第 99 回大会講演要旨. p.34.

(飛佐 学)・中野 豊・岡野 香・白 珍珠・望月俊宏 ほか 2 名 ファジービーン混合が飼料イネサイレージの発酵品質並びに嗜好性に及ぼす影響. 西日本畜産学会講演会

若菜章・林雅・岩屋恭士・福留功・安河内幸一. ハナユ及びその雑種の交雑実生(S_1 , F_1 , BC_1)におけるアルピノの分離. 園芸学会九州支部研究集録 9:1. 2001.

林雅・若菜章・福留功・岩屋恭士・安河内幸一. 酢ミカン雑種における雄性不稔個体の分離と雄性不稔程度. 園芸学会九州支部研究集録 9:2. 2001.

福留功・若菜章・花田信章・安河内幸一. 酢ミカン品種間雑種(F_1)の果実における酸含量. 園芸学会九州支部研究集録 9:3. 2001.

朴成敏・若菜章・金鐘和. ‘マスカットベリーA’の交配から得た二倍体個体の雌性および雄性稔性. 園芸学会雑誌 70 (別冊 1) :65. 2001.

ノースンピン・若菜章. 自家受粉した自家不和合性カンキツ類における花粉管の伸長パターン. 園芸学会雑誌 70 (別冊 1) :178. 2001.

比良松道一. 園芸植物を利用した送粉共生系の保全-果樹園の樹木に訪花する昆虫. 平成 13 年度園芸学会秋季大会. 2001.09

尾崎良子・尾崎行生・比良松道一・大久保敬. 対馬におけるオニユリの倍数性変異. 平成 13 年度園芸学会秋季大会. 2001.9

中野兼宏・吉村きよみ・比良松道一・大久保敬. タカサゴユリとテッポウユリの種分化に関わる生活史戦略の解明. 平成 13 年園芸学会秋季大会. 2001.9

- (飛佐 学)・中野 豊・白 珍珠・望月俊宏ほか 2 名 ファジーピーン混合が飼料イネサイレージの発酵品質に及ぼす影響 日本草地学会誌, 第 47 巻別号, 238-239, (2001)
- (飛佐 学)・中野 豊ほか 2 名 ファジーピーン混合及び糖蜜添加が暖地型牧草サイレージの発酵品質に及ぼす影響 第 98 回畜産学会大会講演要旨, 77, (2001)
- (岩元久雄・田畑正志・榊原浩二・西村正太郎)後藤貴文(・古賀ゆう子) ニワトリ外側腸ケイ骨筋のコラーゲン構築に関する走査電顕的観察. 2001 年 3 月. 第 98 回日本畜産学会 (仙台).
- 尾野喜孝・後藤貴文(・守田 智・岩元久雄・中西良孝・萬田正治・柳田宏一)口之島野生化牛の胸最長筋筋線維に関する組織化学的検討. 2001 年 3 月. 第 98 回日本畜産学会 (仙台)
- 文田登美子・馬場明子・衛藤哲次・渡邊潤・西村光博・後藤貴文、黒毛和種骨格筋における脂肪分化制御因子の発現に関する研究. 2001 年 10 月. 第 52 回西日本畜産学会 (長崎).
- 林 恵介・宮川 創(・城戸 英・重盛 進)衛藤哲次・渡邊 潤・後藤貴文、荒廃果樹園における黒毛和種繁殖雌牛の放牧に関する研究. 2001 年 10 月. 第 52 回西日本畜産学会 (長崎).
- 後藤貴文・衛藤哲次(・服部眞彰)尾野喜孝(・岩元久雄) 給与飼料の質変化が和牛成長ホルモンの分泌パターンに及ぼす影響. 2001 年 9 月. 第 99 回日本畜産学会 (伊那).
- 文田登美子・後藤貴文(・岩元久雄・尾野喜孝)衛藤哲次、黒毛和種雌牛における育成期の給与飼料体系の違いが骨格筋組織に及ぼす影響. 2001 年 9 月. 第 99 回日本畜産学会 (伊那)
- 文田登美子・馬場明子・衛藤哲次・渡邊潤・西村光博・後藤貴文、黒毛和種骨格筋における脂肪分化制御因子の発現に関する研究. 2001 年 10 月. 第 52 回西日本畜産学会 (長崎).
- 林 恵介・宮川 創(・城戸 英・重盛 進)衛藤哲次・渡邊 潤・後藤貴文、荒廃果樹園における黒毛和種繁殖雌牛の放牧に関する研究. 2001 年 10 月. 第 52 回西日本畜産学会 (長崎).
- 後藤貴文・衛藤哲次(・服部眞彰)尾野喜孝・岩元久雄) 給与飼料の質変化が和牛成長ホルモンの分泌パターンに及ぼす影響. 2001 年 9 月. 第 99 回日本畜産学会 (伊那).
- 文田登美子・後藤貴文(・岩元久雄・尾野喜孝)衛藤哲次、黒毛和種雌牛における育成期の給与飼料体系の違いが骨格筋組織に及ぼす影響. 2001 年 9 月. 第 99 回日本畜産学会 (伊那)
- (池田堅太郎)・林恵介・衛藤哲次・渡邊潤・西村光博・後藤貴文(・増田泰久) オーチャードグラスの 2 番草刈り取り時期の違いがメヒシバの雑草害に及ぼす影響. 2001 年 10 月. 第 52 回西日本畜産学会 (長崎).
- (井上健郎・池田堅太郎・松藤由貴子)渡邊潤・衛藤哲次・西村光博・後藤貴文(・増田泰久) イタリアンライグラス種子の熟度と発芽に関する研究. 2001 年 10 月. 第 52 回西日本畜産学会 (長崎).
- (石若礼子・増田泰久)渡邊潤・衛藤哲次・後藤貴文(・佐藤洋行)馬場明子・文田登美子・林恵介・林英明(・浅野洋樹・池田堅太郎) 大分県久住高原におけるカヤネズミによる採草用牧草地の利用. 2001 年 10 月. 第 52 回西日本畜産学会 (長崎).
- 林 恵介・宮川 創(・重盛 進)衛藤哲次(・増田泰久・中西良孝)後藤貴文、樹園跡地の雑草を利用した黒毛和種繁殖雌牛の放牧に関する研究. 2002 年 3 月. 第 100 回日本畜産学会 (東京)
- 衛藤哲次・文田登美子・渡邊 潤(・坂下邦仁・川畑健次・大園正陽) 後藤貴文、黒毛和牛骨格筋における筋線維型構成と骨格筋内脂肪含量の関係に関する研究. 2002 年 3 月. 第 100 回日本畜産学会 (東京)
- 文田登美子・馬場明子・渡邊 潤・衛藤哲次・西村光博・後藤貴文、育成期の黒毛和牛骨格筋における飼養条件の違いが PPAR γ 2 の発現に及ぼす影響. 2002 年 3 月. 第 100 回日本畜産学会 (東京)
- 馬場明子・文田登美子・衛藤哲次・渡邊 潤・後藤貴文、黒毛和牛骨格筋内における哺乳育成期のマイオスタチンの発現に関する研究. 2002 年 3 月. 第 100 回日本畜産学会 (東京)
- 渡邊 潤・文田登美子・馬場明子・衛藤哲次・後藤貴文、黒毛和牛における哺乳育成期の飼養条件の違いが骨格筋組織に及ぼす影響. 2002 年 3 月. 第 100 回日本畜産学会 (東京).

2002 年度

Nakaji, K. et al. Characteristics of the sewage sludge processed by new dehydration system and use for conservation agriculture of paddy, the 10th International Conference of the European Research Network on Recycling of Agricultural, Municipal and Industrial Residues in Agriculture (RAMIRAN). Strbske Pleso, Slovakia.

山中捷一郎・中司 敬・岩崎浩一、農業有機性廃棄物を原料とするマルチ資材の地象環境制御への効果、第

57回農業機械学会九州支部例会、諫早。

山中捷一郎・中司 敬、有機性廃棄物のリサイクル化に関する国際会議に参加して、第57回農業機械学会九州支部例会、諫早。

野本俊雄・中司 敬・内野敏剛・泉和喜男、農村におけるITの普及と利用状況の実態調査、第57回農業機械学会九州支部例会、諫早。

李 康五・中司 敬、多国間の農家による農業生産コラボレーションシステムの構築、第57回農業機械学会九州支部例会、諫早。

中司 敬・内野敏剛・大西 正・野本俊雄、トラクタの廃油処理に関する実態調査、第61回農業機械学会年次大会、盛岡。

Nakaji, K. and K. Lee. Construction of the multilingual collaboration system for farmers. the International Symposium on Automation and Mechatronics of Agricultural and Bioproduction Systems (ISMAB), Chiayi, Taiwan.

島村 聡・望月俊宏・名田陽一 ほか1名 常時湛水条件下におけるダイズの生育と収量. 日本作物学会紀事 71 (別号 1) :26-27.

河野律子・望月俊宏 非浮稲における‘浮稲性’の発現. 日本作物学会紀事 71 (別号 1) :92-93.

河野律子・望月俊宏 ほか2名 ‘浮稲性’のQTL分析. 日本作物学会紀事 71 (別号 2) :272-273.

(飛佐 学)・中野 豊・古澤弘敏・松石貴裕・泉 清隆・道端菜穂子・望月俊宏 ほか3名 米ヌカ及び麦ヌカの混合が青刈り飼料イネサイレージの発酵品質に及ぼす影響. 草地学会

若菜章・ノースンビン・福留功・梶原康平. 蓄受粉による自家不和合性カンキツの自家交雑実生の作出. 園芸学会九州支部研究集録 10:9. 2002.

長泰弘・尾崎行生・大久保敬・松田鹿徳. カックロール(*Momordica dioica* Roxb.)の倍数体作出. 平成14年度園芸学会春季大会. 2002.

浦川寿弘・尾崎行生・松田鹿徳・大久保敬. 日長および温度条件が食用ハス(*Nelumbo nucifera*)の肥大茎形成に及ぼす影響. 平成14年度園芸学会春季大会. 2002.

浦川寿弘・尾崎行生・松田鹿徳・大久保敬・江頭淳二. 播種時期が食用ハス(*Nelumbo nucifera*)の肥大茎形成に及ぼす影響. 平成14年度園芸学会春季大会. 2002.

山下千妃呂・尾崎行生・古閑三恵・宮島郁夫・松田鹿徳・大久保敬. ナスの果皮, 茎および葉柄に含まれる主要アントシアニン色素の遺伝性. 平成14年度園芸学会春季大会. 2002.

尾崎良子・比良松道一・尾崎行生・大久保敬. 三倍体オニユリの遺伝的分化. 第35回種生物学シンポジウム. 2002.

尾崎行生・小池伊津美・比良松道一・大久保敬・宮島郁夫・中島寿亀. AFLP分析によるワビスケ品種群の遺伝的変異とその成立. 平成14年度園芸学会秋季大会. 2002.

藤田千晶・尾崎行生・坂口祐美・大久保敬・松田鹿徳. アスパラガスの倍数体間交配における子房内での花粉管の行動と胚珠の形態. 平成14年度園芸学会秋季大会. 2002.

尾崎良子・比良松道一・尾崎行生・大久保敬. オニユリおよびコオニユリの遺伝的変異によって推定された三倍体オニユリの起源. 平成14年度園芸学会秋季大会. 2002.

中野兼宏・比良松道一・尾崎行生・久保廣安・大久保敬. シンテッポウユリ種子へのオリザリン処理による倍数体作出(第1報)処理の時期と期間の検討. 平成14年度園芸学会秋季大会. 2002.

首藤友香・中野兼宏・比良松道一・尾崎行生・久保廣安・大久保敬. シンテッポウユリ種子へのオリザリン処理による倍数体作出(第2報)品種間差異の検討. 平成14年度園芸学会秋季大会. 2002.

(池田堅太郎・松藤由貴子・荒牧春香・)塩塚雄二・衛藤哲次・西村光博・後藤貴文(・増田泰久.) 変温と光質の違いがイヌビエとメヒシバの発芽に及ぼす影響. 2002年9月. 平成14年度日本草地学会(福岡).

(池田堅太郎・松藤由貴子・荒牧春香・)塩塚雄二・衛藤哲次・西村光博・後藤貴文(・増田泰久.) 九州中部高原地域の採草地におけるイヌビエとメヒシバ埋土種子の休眠覚醒の進行と発芽特性の変化. 2002年9月. 平成14年度日本草地学会(福岡).

(池田堅太郎・松藤由貴子・)塩塚雄二・衛藤哲次・西村光博・後藤貴文(・増田泰久.) 大分県久住・直入地域の採草地におけるイヌビエとメヒシバの埋土種子集団の現状. 2002年10月. 第53回西日本畜産学

会（大分）。

(松藤由貴子・池田堅太郎・)塩塚雄二・衛藤哲次・西村光博・後藤貴文(・増田泰久。)イタリアンライグラス
-夏型イネ科雑草交代草地の3番草刈り時期がイタリアンライグラスの初期成長に及ぼす影響。

2002年10月。第53回西日本畜産学会（大分）。

2003年度

李康五・中司敬、農業生産コラボレーションシステムのためのカメラ画像、第62回農業機械学会年次大会。
中司敬・池田一敏・泉 清隆・梶原さゆり・鳥飼芳秀・松石貴裕、踏車再現による農業技術史教育の実践、
第58回農業機械学会九州支部例会。

李康五・中司敬、農業生産コラボレーションのための日韓英翻訳システム、第58回農業機械学会九州支部例
会。

Lee, K. and K. Nakaji. Development of the multilingual collaboration system for agricultural
production by using IP camera. International workshop 2003 Agricultural engineering and
agro-products processing toward mechanical and modernization in agriculture and rural areas,
Ministry of Education and Training, Vietnam.

Nakaji, K., Yamanaka, S. and Uchino, T. The practical education of the agrotechnology history by
restoring and performing a Japanese traditional treadle water wheel - FUMIGURUMA.
International workshop 2003 Agricultural engineering and agro-products processing toward
mechanical and modernization in agriculture and rural areas, Ministry of Education and
Training, Vietnam.

中司 敬・山中捷一郎・木下 統・池田一敏、踏車の動態保存に関する研究（第1報）-萬右衛門車-、日
本農作業学会第39回講演会。

(飛佐 学)・中野 豊・望月 俊宏 ほか2名 ファジービーンとの混作が飼料イネの収量及びサイレージ
嗜好性に及ぼす影響。草地学会

中野 豊・望月 俊宏・古澤弘敏・梶原良徳・安河内幸一・道端菜穂子・名田陽一 ほか1名 浮稲の飼料
化と耐倒伏性。草地学会

安河内幸一・中野 豊・古澤弘敏・梶原良徳・道端奈穂子・望月俊宏・名田陽一 ほか2名 ファジービ
ーンとの混作が飼料イネサイレージの発酵品質並びに嗜好性に及ぼす影響。西日本畜産学会報：53。

古澤弘敏・中野 豊・梶原良徳・安河内幸一・道端奈穂子・望月俊宏・名田陽一 ほか2名 テテップおよ
びテテップ・ファジービーン混合サイレージの乳牛への給与。西日本畜産学会報：63。

中野 豊・望月俊宏 ほか3名 ファジービーンとの混作が浮イネの収量に及ぼす影響：日本作物学会紀事
72（別号2）：340-341

(飛佐 学)・中野 豊・望月俊宏 ほか2名 ファジービーンとの混作が飼料イネの収量に及ぼす影響。日
本作物学会紀事72（別号2）：342-343

Thaw, S., T. Mochizuki, et al. The role of ethylene on varietal differences in internodal elongation
ability of deepwater rice, *Oryza sativa* L. 日本熱帯農業学会 熱帯農業48 (Extra issue 1) :51-52

(飛佐 学)・中野 豊・白 珍洙・望月俊宏・古澤弘敏・松石貴裕・泉 清隆・道端奈穂子・名田陽一 ほ
か2名 浮イネを含むイネ数品種のサイレージ発酵特性。Grassland Science 50:440-441

(馬場武志)・中野 豊・望月俊宏・名田陽一 ほか1名 施肥量が飼料用の浮稲の生育に及ぼす影響。
Grassland Science 50 : 456-457

(飛佐 学)・中野 豊・望月俊宏 ほか2名 ファジービーンとの混作が移植および直播栽培飼料イネ並び
に浮イネの収量に及ぼす影響。Grassland Science 50 : 458-459

(島村 聡)・望月俊宏 湛水条件下でダイズに形成される通気組織とその機能。日本作物学会紀事73（別号
1）：320-321

吉松孝宏・若菜章・朴成敏・福留功・梶原康平。三倍体と二倍体カンキツの交雑実生における異数体個体の
出現頻度。園芸学会九州支部研究集録11:20. 2003。

若菜章・花田信章・福留功・梶原康平。酢ミカン雑種における種子の大きさ、単胚率および多胚性程度。園
芸学会九州支部研究集録11:22. 2003。

増田順一郎・尾崎行生・松田鹿徳・大久保敬。肥大茎形成後の長日処理が食用ハスの生育に及ぼす影響。平成

- 15年度園芸学会春季大会. 2003.
- 増田順一郎・尾崎行生・松田鹿徳・大久保敬. ジベレリン生合成阻害剤が食用ハスの肥大茎形成に及ぼす影響. 平成15年度園芸学会春季大会. 2003.
- 尾崎良子・比良松道一・尾崎行生・大久保敬. コオニユリの授粉によって多数産出された三倍体オニユリの発芽可能な種子. 平成15年度園芸学会春季大会. 2003.
- Sakai, K., K. Ureshino, Y. Ozaki and I. Miyajima. Effectiveness of inter-ploid crosses for overcoming plastome-genome incompatibility in intersectional crosses of azaleas. EUCARPIA; European Association for Research on Plant Breeding- Section: ORNAMENTALS. 2003.
- Shuto, Y., K. Nakano, M. Hiramatsu, Y. Ozaki and H. Okubo. Polyploid induction in *Lilium x formolongi* by oryzalin treatments. EUCARPIA; European Association for Research on Plant Breeding- Section: ORNAMENTALS. 2003.
- 江頭淳二・甲斐田健史・森欣也・山口史子・尾崎行生. 食用ハス(レンコン)新品種候補‘白系2号’(仮称)の特性. 平成15年度園芸学会九州支部大会. 2003.
- 坂口祐美・尾崎行生・嶺善晴・大久保敬・松田鹿徳. アスバラガス品種におけるアントシアニン色素変異ならびに環境要因と着色との関係. 平成15年度園芸学会秋季大会. 2003.
- 長泰弘・尾崎行生・大久保敬・松田鹿徳. カックロール(*Momordica dioica* Roxb.)の倍数性育種に関する研究. 平成15年度園芸学会秋季大会. 2003.
- 増田順一郎・尾崎行生・松田鹿徳・大久保敬. ジベレリン処理が食用ハスの肥大茎形成に及ぼす影響. 平成15年度園芸学会秋季大会. 2003.
- 増田順一郎・尾崎行生・松田鹿徳・大久保敬. 日長と光中断処理が食用ハスの肥大茎形成に及ぼす影響. 平成15年度園芸学会秋季大会. 2003.
- 酒井かおり・尾崎行生・大久保敬. サツキにおける種々の倍数体間の交雑親和性. 平成15年度園芸学会秋季大会. 2003.
- 林 恵介・宮川 創(・植田 彩・)衛藤哲次・塩塚雄二(・重盛 進・増田泰久・)名田陽一・後藤貴文. 放牧強度が異なる樹園跡地における植生の短期的変化. 2003年3月. 第58回日本草地学会(筑波).
- 宮川 創・林 恵介(・植田 彩・)塩塚雄二・衛藤哲次(・重盛 進・増田泰久・)名田陽一・後藤貴文. 樹園跡地植生の群落内照度に及ぼす異なる放牧強度の影響. 2003年3月. 第58回日本草地学会(筑波).
- 後藤貴文(・川畑健次・坂下邦仁・岩元久雄・Ender Klaus・Wegner Jochen.)欧州牛と和牛における骨格筋の発達と枝肉中脂肪蓄積量の成長に伴う変化. 2003年3月. 第101回日本畜産学会(筑波)
- (植田 彩・)林 恵介・宮川 創・衛藤哲次・後藤貴文(・増田泰久.)2003. 放棄果樹園におけるセイタカアワダチソウの放牧牛による採食利用. 2003年5月. 第42回雑草学会(東京).
- (池田堅太郎・)後藤貴文・衛藤哲次・塩塚雄二・西村光博(・増田泰久.)九州中部高原地域の採草用牧草地におけるイヌビエとメヒシバの発生消長. 2003年5月. 第42回雑草学会(東京).
- (板山智子・池田堅太郎・)林 恵介(・植田 彩・飛佐 学・)塩塚雄二・衛藤哲次(・下條雅敬・)後藤貴文(・増田泰久.)耕作放棄地における牛糞による植物種子散布と埋土種子集団の分布. 2003年10月. 第54回西日本畜産学会(沖縄、那覇)
- (植田 彩・)林 恵介・宮川 創・塩塚雄二・衛藤哲次・後藤貴文(・増田泰久.)放牧地に優占するセイタカアワダチソウの季節、放牧圧及び部位による硝酸態窒素の濃度の違い. 2003年10月. 第54回西日本畜産学会(沖縄、那覇).
- 林 恵介・宮川 創(・池田堅太郎・植田 彩・板山智子・)衛藤哲次・塩塚雄二・衛藤哲次・後藤貴文. 異なる放牧強度がミカン園跡地の植生および放牧牛の採食物に及ぼす影響. 2003年10月. 第54回西日本畜産学会(沖縄、那覇).
- 文田登美子・田中啓子・塩塚雄二・衛藤哲次・西村光博・後藤貴文. 牛初期成長期における給与飼料の質の違いが骨格筋内における脂肪細胞分化制御因子の発現に及ぼす影響. 2003年10月. 第54回西日本畜産学会(沖縄、那覇).
- (池田堅太郎・)林 恵介・塩塚雄二・衛藤哲次・西村光博・後藤貴文(・増田泰久.)光の照射がイヌビエとメヒシバ種子の発芽に及ぼす影響. 2003年10月. 第54回西日本畜産学会(沖縄、那覇)
- 宮川 創・林 恵介(・植田 彩・)衛藤哲次・後藤貴文. 黒毛和種繁殖雌牛の放牧にともなうミカン園跡地

の植生変化. 2003年10月. 第54回西日本畜産学会(沖縄、那覇).

宮川 創(・河原 聡・)文田登美子・林 恵介・衛藤哲次・名田陽一・後藤貴文. 粗飼料のみで飼養された黒毛和種去勢牛における胸最長筋内脂肪含量および脂肪酸組成. 2004年3月. 第103回日本畜産学会(東京).

調査研究報告

2000年度

中野 豊(分担) 畑地及び樹園地における雑草の生態調査 平成8~10年度科学研究補助金(基盤A)研究成果報告書, 76-77, 174-175, (2000)

後藤貴文・服部真彰・西村正太郎・田畑正志・岩元久雄; 給与飼料の質変化が和牛成長ホルモンの分泌パターンに及ぼす影響. 平成12年度食肉に関する助成研究調査成果報告書19:145-151. 2000.

2001年度

後藤貴文・服部真彰; 給与飼料の質変化が和牛成長ホルモンの分泌パターンに及ぼす影響. 平成13年度食肉に関する助成研究調査成果報告書20:166-169. 2001.

2002年度

中司敬ほか. 農村におけるITの普及と利用状況の実態調査報告、世代間連携による高度技術の産業利用研究会報告第1号、2002.

中司敬ほか. 農業機械の廃油処理状況に関する実態調査報告、世代間連携による高度技術の産業利用研究会報告第2号、2002.

2003年度

中司敬ほか. 福岡市認定農業者を対象者としたITの普及と利用状況の実態調査報告、世代間連携による高度技術の産業利用研究会報告第3号、2003.

中野 豊・望月俊宏. アザメの瀬再生過程における土壌養分とバイオマスの評価

大久保敬・宮島郁夫・尾崎行生・比良松道一. 分子生物学的アプローチによる球根作物の球根形成および休眠に関する研究. 平成12~14年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))研究成果報告書. 2003.

(飛佐 学)・岡野 香. 水田転換畑を有効利用した良質粗飼料生産基盤の確立—暖地型マメ科牧草の栽培管理法・飼料価値の検討—. 平成14年度食肉に関する助成研究調査成果報告書, 21:175-181.